

“普段着”の コミチャン 制作状況を交流

静岡・東伊豆地区はコミチャン第一世代のメッカで、先進的に取り組んでいた下田有線テレビ(SHK)は全国から視察が続き、「下田詣で」という言葉も生まれたほどだった。その後、東伊豆地区の観光低迷のなかで忘れ去られた存在となったが、一念発起、東伊豆地区のCATV有志が呼びかけ、「普段着のコミチャン制作を交流しよう」と1泊2日の宿泊研究会が8月26日～27日に伊豆・下田を会場に開催した(主催:本誌編集部)。2日目は、山間難視エリアの南伊豆町周辺の現地バス見学も行った。

(レポート:吉井 勇・本誌編集長)

災害時の緊急放送対応も真剣に学ぶ

みんなの広場の四隅に小型カメラを常設。カメラを意識させない映像制作もできる



伊豆急下田駅改札から
徒歩50歩の小林テレビ設備
「みんなの広場」に集合



駅前にある小林テレビ設備はもともと電気店から出発しているので立地は駅前直結。地の利を生かして、観光客はもちろん地元の人にも開放したスペース「みんなの広場」。地元の下田太鼓なども叩ける。各地から集まって研究会がスタート

開催概要

テーマ: 普段着のコミチャン制作を語り合おう

開催: 8月26日～27日(1泊2日)

会場: 小林テレビ設備、下田東急ホテル、南伊豆公民館

研究:1日目

- ① 有限会社の小さなCATV局=小林テレビ設備の「みんなの広場」作戦を体験
- ② 講演「東海地区のCATVへの期待」
総務省 東海総合通信局・放送部有線放送課長 鉄尾忠則氏
- ③ 参加各局が経験を交流し合う
「普段着のコミチャン制作」
- ④ 夜なべ談義

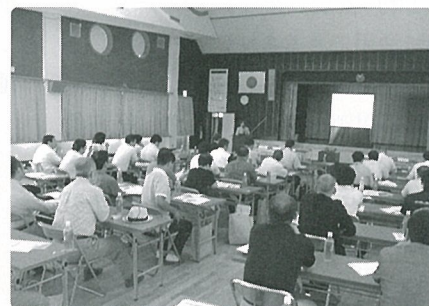
2日目

- ⑤ 下田から南伊豆地域「CATV分布実態見学」～バス移動しながら
- ⑥ 講演「災害発生時におけるNHKの対応」
NHK編成局編成主幹 児部純一氏
- ⑦ ベンダー提案/災害発生時「緊急放送」システム
・音声告知/ホーチキ(株)
・L字緊急/(株)ビジョンストリーム
・データ放送/(株)データブロード、(株)メディアキャスト、(株)ヨーズ
マー、ジャパンケーブルキャスト(株)



1日目の会場

下田東急ホテルで開催



2日目の会場

南伊豆公民館で開催